

平成24年行政事業レビューシート (外務省)										
事業名	啓発宣伝活動意見交換会議			担当部局庁	外務報道官・広報文化組織			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	—			担当課室	人物交流室			室長 中田 昌宏		
会計区分	一般会計			施策名	Ⅲ－1 海外広報、文化交流					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項			関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	青少年交流事業及びオリンピック(夏季及び冬季)が開催される機会に、開催地の在外公館において関係者を招いて意見交換会やレセプションを開催し、右を通じて対日理解の促進及び友好親善関係の強化を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 夏季及び冬季オリンピックが開催される際に、開催地在外公館長、日本オリンピック委員会(JOC)及び日本選手団が共催でレセプションを開催し、IOC、開催国及び各国オリンピック関係者や競技連盟関係者等との関係強化を図る。 2. 日米学生会議(本邦と米国とで交互に開催)の米国開催に際し、開催地在外公館長が参加者及び日米双方の関係者を招いた意見交換を実施する。 3. カリフォルニア州と日本の高校生交流事業(毎年サンフランシスコにて開催)の実施に際し、在サンフランシスコ総領事館が参加者に対するブリーフィングや日米関係者を招いての意見交換等の場を提供する。 (平成23年度は、上記2.のみ予算計上。24年度は、上記1.～3.を予算計上。)									
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
			当初予算	2	0.8	0.2	2	2		
			補正予算	—	—	—				
			繰越し等	—	—	—				
	計	3	0.8	0.2	2	2				
	執行額		2	0.6	0					
執行率(%)		84.8	77.5	0						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	日米学生会議参加者間の親睦に加え、開催地の有識者等と日米関係等について意見交換を行う。レセプションの参加人数を成果実績の指標とする。			成果実績		—	237	—	250	
				達成度	%	—		—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	米国在外公館における日米学生会議レセプションの開催			活動実績 (当初見込み)		—	2	—	—	
						2	(—)	2		
単位当たりコスト	(円／)			算出根拠						
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	レセプション開催費	2	2							
計	2	2								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・ロンドン・オリンピック開催時の在英日本大使館、JOC及び日本代表選手団共催レセプションには、IOC委員を始め国際スポーツ関係者を多数招くこととしており、政府が全面支援している2020年東京オリンピック招致に貢献するもの。 ・平成23年度のカリフォルニア州と日本との高校生交流については、東日本大震災の発生を受けて中止。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きき場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・オリンピック開催時の開催地在外公館、日本オリンピック委員会及び日本代表選手団共催のレセプションは、その経費を共催する3者で分担することを原則としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・レセプション開催は、2020年東京オリンピック招致活動のため各国IOC委員、NOC委員、国際競技連盟役員等との人脈を形成する上で、効果的な場を提供。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	日米学生会議レセプションは本邦と在米国公館にて交互に隔年開催。1934年の初開催より戦争の一時期を除き継続して実施され、同会議OB・OGから各界で活躍する多数の著名人を輩出している。日本政府として本会議の開催にこれまで長期間にわたり協力してきたところであり、レセプションも従来の賛助金に代わる協力として2001年より東京、米国隔年で開催している。 本レセプションの開催は日本人の内向き志向が指摘されている中で日米留学関係者及び日米学生の交流の機会として依然貴重である。また、開催場所(公邸)、経費とも妥当。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0260	平成23年行政事業レビュー	0248